

2019年12月5日



第4回ドリンクジャパンにクトラーレ社と共同で出展しました。

11月27日（水）～29日（金）に幕張メッセで開催された第4回ドリンクジャパンにエム・シー・フーズは、ブラジルのオレンジ果汁サプライヤー、クトラーレ社と共同で初出展しました。



【出展ブースの様子】

弊社は三菱商事時代から30年近くに渡ってクトラーレ社製オレンジ果汁の日本での販売代理店として築かれたパートナーとしての信頼関係が強みであり、輸入果汁で最大アイテムであるオレンジ果汁を日本市場に販売してきました。

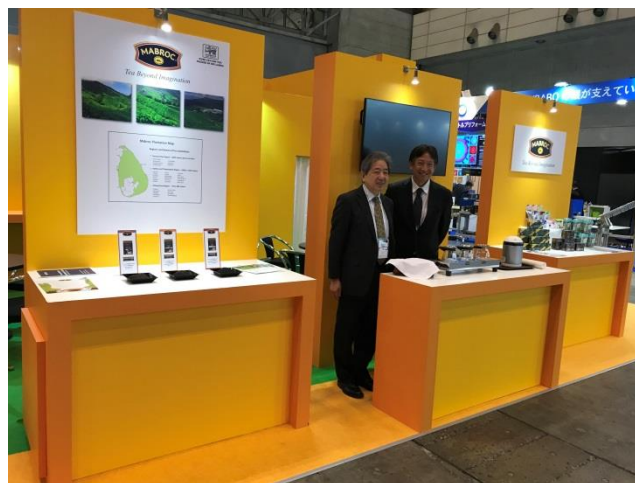
世界最大級のオレンジ果汁輸出国であるブラジルでクトラーレ社は最大手の一社であり、アメリカ・フロリダ州とブラジル・サンパウロ州、及びミナスジェライス州に大規模農園と工場を持ち、6隻の巨大オレンジ果汁専用タンカーにて世界各地の自社ジュースターミナルにオレンジ果汁を供給しています。日本には愛知県豊橋市に1993年のオレンジ輸入自由化時に建設したジュースターミナルがあります。



【クトラレー社による講演】

展示会期間中にはクトラレー社幹部が来日し講演会を行い、約170名の方が参加しました。オレンジ特有の効能、及び果汁の状況と見通しについて話しました。また出展ブースにも説明会場を設営してクトラレー社のビデオ上映会を開催し、多くの参加者から「ブラジルでの農園から供給までの流れが大変参考になった」「オレンジの特性がよく分かった」などのコメントをいただき、100名以上の飲料メーカー及びリテール各社の参加者との活発な質疑応答が行われました。

同時に弊社茶類事業部が取扱うスリランカ国マブロック社の紅茶プロモーションを行い、来場者に弊社の飲料事業への展開をデモンストレーションしました。



【マブロック社の紅茶プロモーション】

以上